

1学期のトピックス

【1年生】 保護司さんによる「ごめんなさい」の道徳の学習

保護司さん、読み聞かせ「翼の会」の方々においでいただき、「コウくんのきいろいろはね」の読み聞かせと「ごめんなさい」の学習をしました。友達の折り紙をぬらしてしまったコウくんは、あやまれないでいたのですが、ペンギンのホゴちゃんの応援を受けて、「ごめんなさい」が言えました。こどもたちは役割演技で「ごめんね」「いいよ」と言う練習をして、

代表で前に出て、しっかりと言うこともできていました。

1年生の保護者、地域の方にも参観していただきました。おみやげの「紙でっぽう」を作って笑顔いっぱいのこどもたちでした。



【2年生】 大阪・関西万博2025 いのちの遊び場「クラゲ館」を飾る協奏タイル

2025年に開催が予定されている大阪・関西万博のパビリオンの1つ「いのちの遊び場 クラゲ館」はテーマが「いのちを高める」です。その建物の一部を「いのち」をテーマにした協奏タイルで仕上げるプロジェクトがあり、2年生が参加しました。デザインを一人一人が考え、2年生で10枚のタイルに仕上げました。



【3・4年生】 羽田青年連合会の方による「祭り学習」

「羽田の祭り」について学ぶ学習を、今年度から取り入れました。町が大切にしている「羽田の祭り」について、実はよく分かっていないこともたくさんあるからです。自分たちの地域や「祭り」を守り育てる人になってほしいと願って位置付けました。貴重な映像や写真をお借りすることができました。「あれ？牛がいるよ」「道いっぱいの大きさの神輿だな」。昔の写真を見て、違いに気付き疑問をもったこどもたち。今年度、羽田青年連合会は50周年を迎えたとのこと。会長さんをはじめ、青年連合会の方においでいただき、質問にたくさん答えていただきました。



【5年生】 羽田の和菓子屋さん 磯崎家さん・玉川屋さんのご協力のもと 「和菓子とお茶を楽しもう」～これから「おおたの未来づくり」へ～

5年生は、新設教科「おおたの未来づくり」で、地域の和菓子屋さんとコラボすることになりました。まず最初のステップとして、「和菓子との出会い」。家庭科で学んだ「お茶のいれ方」を生かして、丁寧に煎茶をいれて、磯崎家の「黒糖まんじゅう」、玉川屋さんの「練り切り」と一緒にいただきました。

美しさと美味しさを、味わうひとときとなりました。



【6年生】 大学の先生とデータ活用の学習

6年生の学習に、東京学芸大学・明治学院大学のSTEAMチームが伴走してくださいます。1学期は、算数の「データの活用」の導入で、大学の教授がデータの取り方・まとめ方についての授業をしました。

子どもが自らデータや資料にかかり、多面的に考えることができるようになります。今回のデータは「目をつぶって片足立ちをする時間～片足立ちチャレンジ」。e-Statを使ってグラフをつくり、データの特徴や傾向の分析をします。どんな人が長く片足立ちができるのだろうか、などと条件を考えました。「体育の授業が好きな人」「毎日、朝ごはんを食べている人」「緊張するとふるえる人」など考えた上でデータを取りました。

そして2つのグラフ(データ)を見比べ、分かること、気付いたこと、当てはまるなどなどを検討し発表しました。



祭り掲示板・祭りマップ

町会長さん、羽田青年連合会の方々のご協力をいただき、「羽田のまつりマップ」を作成しました。各町会の子供神輿や山車の出る時間や、町会からのメッセージを盛り込みました。「子どもは町のたからもの。どの町会でも歓迎しますよ」と言ってくれているので、子どもが参加できるようにと、学校とCS協働で作りました。そして北門には「祭り掲示板」が。ポスター、マップ、子どもたちの意気込みメッセージが貼られました。

